

－「地域見守りたい！」地・学連携による空き家活用プロジェクト－  
合板でつくる家具デザインコンペ実施要領

## 1. 趣旨

鳶巣地区における「地・学連携による空き家改修プロジェクト」では、県立大学学生の住まいとしてのシェアハウスに併せ、鳶巣地区住民と学生の交流の場として活用する「地域交流サロン」を整備します。

この地域サロンで使用する家具類のデザインを県内で建築を学ぶ学生等を対象としたコンペ形式で募ることにより、この空き家活用プロジェクトの周知、情報発信を図るものです。

## 2. 提案の対象者

制限しません。（応募は個人又はグループを問いません）

## 3. 実施スケジュール

- (1) 募集期間：令和3年9月27日（月）～ 令和3年11月26日（金）
- (2) 作品審査：令和3年12月中旬（予定）

## 4. 提出物

- (1) デザイン案（紙面のサイズはA3判）
- (2) エントリーシート（紙面のサイズはA4判）

## 5. 提出の方法等

- (1) デザイン案及びエントリーシートを電子データ（PDF形式）により、電子メールで提出するものとします。
- (2) 電子データでの提出が困難な場合は、印刷したものを事務局へ郵送することも可能とします。郵送に係る費用は応募者の負担とします。
- (3) 提出するデザイン案には、氏名、グループ名等、作成者が特定できる事項を記載してはならないものとします。
- (4) 提出先は、一般財団法人島根県建築住宅センターとします。

## 6. 応募デザインについて

### (1) 提案を求める内容

地域交流サロンで使用する家具類のデザイン

《地域交流サロンでの行事例》

- ・町内、地域の会合
- ・祭り等のイベント
- ・県大看護栄養学部学生による健康教室

### (2) デザインの条件等

- ① 合板（1枚の寸法 910mm×1820、厚さ 適宜）を使用（主材料）して製作できるものとします。

※部分的に合板以外の材料を使用することは可能とします。

- ② 実際に製作が可能で、長期に使用できるものとします。

（過度な製作費用がかかるもの、構造上成り立たないもの、耐久性に支障があるデザインは表彰の対象外とします。）

- ③ 家具類の種類は、テーブル、いす、棚、その他地域交流サロンの行事例を踏まえ

適宜提案できるものとします。

④ 未発表のものに限ります。

(3) その他の条件等

① 1つの応募につき、家具類を1点以上提案することとします。

② 応募は1人（1グループ）が複数行っても構いません。

## 7. 審査について

(1) 審査委員会（地・学連携による空き家活用プロジェクトの連携団体により構成）により審査を行います。

(2) 審査は、提出された応募案に対して行うものとし、応募者のプレゼンテーションは行いません。

## 8. 審査基準

デザイン性・機能性・快適性、製作の実現性等について、総合的に評価するものとします。

## 9. 受賞

最優秀賞 1作品（賞金3万円）

優秀賞 3作品（賞金1万円）

特別賞 適宜（賞金5千円）

※高校生が受賞した場合は、同額の図書カードとします。

なお、応募状況により、別途、賞を設定する場合があります。

## 10. 発表

受賞者の発表は主催者のホームページで公表するとともに、代表者へ別途連絡いたします。

## 11. 受賞した作品の取り扱い

(1) 受賞した作品（デザイン）をもとに、家具類を製作します。

(2) 受賞者には、当該製作した家具の写真を提供します。

(3) 提案の著作権は提案者に帰属します。主催者は提案されたデザインをもとに家具を製作する権利を保有するものとします。

## 12. コンペの主催等

主催：「地・学連携による空き家活用プロジェクト」連携団体

〔コンペ実施事務局（一財）島根県建築住宅センター〕

特別協賛：一般財団法人 田部謝恩財団

## 提供資料

- ・対象空き家平面図 S=1:100
- ・現況写真（地域交流サロン部分）

## 【提出・問合せ先】

一般社団法人 島根県建築住宅センター

〒690-0842 島根県松江市東本町2丁目60番地 すままちプラザ2階

メール：info@shimane-bhc.or.jp TEL：0852-26-4577